

城下賢吾教授 略歴・著作目録

略歴

- 昭和30年9月5日生 長崎市生まれ
- 昭和53年3月 長崎大学経済学部卒業
- 昭和59年3月 神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了
- 昭和59年3月31日 経営学修士（神戸大学）
- 昭和62年3月 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位修得退学
- 平成16年2月10日 博士（経営学）（神戸大学）
- 昭和53年4月1日 山一証券株式会社（～昭和55年1月31日）
- 昭和61年4月1日 日本学術振興会特別研究員（～昭和62年3月31日）
- 昭和62年4月1日 広島経済大学講師
- 平成3年4月1日 広島経済大学助教授
- 平成7年4月1日 山口大学助教授（経済学部）
- 平成9年4月1日 UCパークレー・Haasビジネススクール客員研究員
（～平成10年8月31日）
- 平成10年8月1日 山口大学教授（経済学部）
- 平成16年4月1日 山口大学大学院東アジア研究科兼任教授
- 平成19年4月1日 UCパークレー・Haasビジネススクール客員研究員
（～平成19年9月30日）
- 平成29年4月1日 山口大学大学院東アジア研究科副研究科長
（～令和3年3月31日）
- 令和3年4月1日 山口大学名誉教授
- 令和3年4月1日 岡山商科大学経営学部教授

【学部内委員等】

- 平成12年度 教務委員会委員長
- 平成15年度 研究図書委員会委員長
- 平成16年度 経営学科世話役、情報環境委員会委員長
- 平成18年度 入試委員会委員長

平成21年度	就職支援委員会委員長
平成23年度	研究科運営委員会委員長
平成25年度	経営学科世話役
平成27年度	東研・図書委員会委員長

【社会活動等】

県立総合医療センター中期経営計画検討懇話会委員
山口県公衆浴場入浴料金協議会委員
山口市スポーツの森スコアボード等改修工事に係るプロポーザルにおける評価委員会委員
山口市武道館建設検討委員会委員
中国財務局財務行政モニター
日本経営財務研究会評議員
行動経済学会監事
財団法人やまぐち産業振興財団プロジェクトマネージャー等選定委員会委員
財団法人やまぐち産業振興財団山口県中小企業支援センター事業推進委員会委員
財団法人やまぐち産業振興財団選定委員会委員
公益財団法人山口きらめき財団評議員
生活協同組合コープやまぐち経営監理委員会委員

【主要担当科目】（令和2年度）

経済学部	財務管理論 投資論 卒業論文演習
共通教育	経済と法2 [金融知識と日本経済]
経済学研究科	演習ⅠA・ⅠB 演習ⅡA・ⅡB ファイナンス研究
東アジア研究科	特別研究 現代企業ファイナンス特別講義

【所属学会】

日本経営財務研究会
証券経済学会

研究業績目録

【著書】

(単著)

1. 『市場のアノマリーと行動ファイナンス』 千倉書房, 2002年

(共著)

1. Shigeki Sakakibara, Shimon Fukuda, Hidetoshi Yamaji, Hisakatsu Sakurai, Kengo Shiroshita 『The Japanese Stock Market: Pricing Systems and Accounting Information』 Praeger, 1988
2. 榊原茂樹, 城下賢吾, 姜喜永, 福田司文 『入門証券論』 有斐閣, 2000年
3. 榊原茂樹, 城下賢吾, 姜喜永, 福田司文, 『入門証券論新版』 有斐閣, 2005年
4. 榊原茂樹, 城下賢吾, 姜喜永, 砂川伸幸 『パーソナルファイナンス入門：私たちの生活とお金』 中央経済社, 2006年
5. 城下賢吾, 森保洋 『日本株式市場の投資行動分析：行動ファイナンスからのアプローチ』 中央経済社, 2009年
6. 榊原茂樹, 城下賢吾, 姜喜永, 福田司文, 岡村秀夫 『入門証券論 第3版』 有斐閣, 2013年
7. 山口大学大学院東アジア研究科編著, 中田範夫, 城下賢吾責任編集 『東アジアの医療福祉制度：持続可能性を探る (山口大学大学院東アジア研究科東アジア研究叢書4)』 中央経済社, 2018年

(分担執筆)

1. 「市場の効率性」, 赤石・小嶋・濱村編 『コーポレートファイナンスの最前線』 中央経済社, pp161-175, 1995年
2. 「現代の株価の過剰反応について」 森昭夫・赤石雅弘編 『構造変換期の企業財務』 中央経済社, pp.179-195, 1998年

3. 「新規株式公開について」濱村章編『コーポレートファイナンスと資本市場』税務経理協会, pp.175-192, 2004年
4. 「財務管理」, 山口大学経済学部経営学科編『経営学をやさしく学ぶ』中央経済社, pp.97-107, 2005年
5. 「株式市場のアノマリーと財務決定」榊原茂樹・砂川伸幸編『価値向上のための投資決定』中央経済社, pp.197-213, 2009年
6. 「ポートフォリオマネジメント」榊原・加藤・岡田編『行動ファイナンス』中央経済社, pp.161-178, 2010年

【論文】

(単著)

1. 「利益予測の正確性の比較」『六甲台論集』31(1), pp.17-27, 1984年
2. 「わが国株式市場における株式の超過収益と決算利益の予測誤差との関連」『証券経済』(154), pp.177-196, 1985年
3. 「株価情報と投資戦略－実証分析」『広島経済大学経済研究論集』13(1), pp.219-233, 1990年
4. 「わが国株式市場の利益情報と株式リタンの逆転化」『広島経済大学経済研究論集』14(4), pp.81-93, 1992年
5. 「経営財務のフロンティア－9－市場の効率性について」『企業会計』45(12), pp.1710-1715, 1993年
6. 「日本の株式市場は利益情報に過剰反応するか」『島経済大学経済研究論集』17(1), pp.167-196, 1994年
7. 「株式市場の過剰反応に関する考察」『山口経済学雑誌』44(5-6), pp.193-216, 1996年
8. 「株式市場の過剰反応と過小反応」『山口経済学雑誌』46(1-2), pp.91-121, 1998年
9. 「株式市場の過剰反応・過小反応と行動ファイナンス」『山口経済学雑誌』47(4), pp.123-143, 1999年

10. 「株式市場のアノマリーと行動ファイナンス－アメリカのサーベイを中心にして」『山口経済学雑誌』 49(2), pp265-303, 2001年
11. 「株価情報と株価変化情報－実証分析」『山口経済学雑誌』 49(5), pp53-65, 2001年
12. 「地域活性化のためのコミュニティビジネス－山口の事例（特集 地域経済の再生とコミュニティビジネスの展開－NPOへの期待と課題）」『地域政策研究』 (17), pp26-33, 2002年
13. 「小口個人投資家の気質効果」『山口経済学雑誌』 52(4), pp67-89, 2004年
14. 「実験室検証での気質効果（特集 行動ファイナンス）」『国民経済雑誌』 190(1), pp1-14, 2004年
15. 「利益情報に対する過小反応とモーメンタム効果－サーベイ研究」『山口経済学雑誌』 55(3), pp15-34, 2006年
16. 「気質効果」『山口経済学雑誌』 55(6), pp229-252, 2007年
17. 「安全引き出し率：国際比較」『商学論究』 61(4), pp45-65, 2014年

(共著)

1. 城下賢吾, 木下真「自分年金化と安全引き出し率」『山口経済学雑誌』 65(6), pp19-44, 2007年
2. 城下賢吾, 森保洋「日本株式市場におけるモーメンタム・リバーサル効果の検証（〔証券経済学会〕第66回全国大会）」『証券経済学会年報』 42, pp266-270, 2007年
3. 森保洋, 城下賢吾「投資パフォーマンスと取引量の関係－自信過剰仮説の観点から（〔証券経済学会〕第68回全国大会）」『証券経済学会年報』 43, pp185-189, 2008年
4. 城下賢吾, 木下真「退職ポートフォリオ分析：モンテカルロシミュレーションとオーバーラッピング法を使って」『山口経済学雑誌』 60(6), pp55-84, 2012年

5. 城下賢吾, 木下真「4%ルールは可能か:日米比較」『山口経済学雑誌』62(1), pp15-49, 2013年
6. 城下賢吾, 木下真「自分年金化と安全引き出し率」『山口経済学雑誌』65(6), pp369-394, 2017年

【研究ノート】

1. 「行動ファイナンスとパズル」『山口経済学雑誌』47(1), pp411-438, 1999年
2. 「行動ファイナンスと個人の貯蓄行動－アメリカのサーベイを中心にして」『山口経済学雑誌』57(5), pp231-247, 2009年
3. 「意見の相違と空売り制約－文献紹介」『山口経済学雑誌』58(4), pp153-170, 2010年
4. 「空売り制約と株価」『山口経済学雑誌』58(6), pp143-155, 2010年
5. 「個人投資家のサーベイ研究」『山口経済学雑誌』64(6), pp153-166, 2016年

【その他】

1. 「株式の超過収益と決算利益の予測誤差の関係に関する実証分析（『証券経済学会年報』（21））, pp23-32, 1986年
2. 「過去の株価情報で市場を出し抜けるか」（『証券経済学会年報』（23））, pp1-10, 1988年
3. 「日本の株式市場は利益情報に過剰反応するか」（『証券経済学会年報』（30））, pp20-28, 1995年
4. 「小口個人投資家行動の検証－実験室での検証（〔証券経済学会〕第60回全国大会）－（共通論題「投資家心理と証券市場」）」『証券経済学会年報』（39）, pp204-208, 2004年
5. 「行動ファイナンスの資産運用への応用（座談会, 『証券アナリストジャーナル』44(2)）, pp.7-33, 2006年

6. 「行動ファイナンスに関する実証分析—企業と家計のファイナンス行動のパズルの解明—」『2005年～2006年度科学研究費補助金(基盤研究(B)研究報告書)』, 研究代表者 城下賢吾, pp1-207
7. 「日本の株式市場のモーメンタム効果」(森保との共著『証券経済学会年報』(42)), pp266-270, 2007年
8. 「我が国株式市場日おける自信過剰効果の検証」(森保との共著『証券経済学会年報』(43)), pp185-189, 2007年
9. 日本経済新聞夕刊コラム『十字路』執筆, 2003年～現在に至る